

2025年10月1日

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

- 当組合は、恵まれた自然・農業を守り、地域社会に貢献のもと、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成と「ひと・いえ・くるま・農業」のバランスの取れた総合保障の提供を通じて豊かな生活の実現に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（ J A 共済連）が、共同で事業運営しております。

あまくさ農業協同組合

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組みサービスの提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注) 原則6本文および(注2、3、6、7) 補充原則1～5本文および(注)】

- ・ 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- ・ 組合員・利用者の皆さまに対面で金融商品を販売する際には、適合性チェックシートを活用して適切に販売しております。
- ・ JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、投資運用会社のプロダクトガバナンスの実効性が確保されていることを含め、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。
- ・ なお、組合員・利用者の皆さまの最善の利益の実現につながる取組として、2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社との情報連携を開始予定です。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2025年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1	4
株式型	3	5
REIT型	1	2
バランス型	7	

<商品選定の考え方>

② コア・サテライト戦略について

保有する資産を守る「コア(中核)資産」と攻める「サテライト(衛星)資産」に分けて運用する方法

<イメージ図>

<コア(中核)資産>
・ 安定的な運用を目指す
・ バランス型ファンド
・ 安定型の債券ファンドなど

<サテライト(衛星)資産>
・ REIT
・ 個別ニーズに応える単一資産ファンドなど

③ JAバンクのセレクトファンド

JAバンクのセレクトファンドは、国内の約6,000本の中から、**JAバンクが独自の基準で**長期投資に適した投資信託を厳選しました。

主な選定基準等

- 1 **長期投資** 長期投資を前提とした投資信託であること
- 2 **手数料** 手数料が良心的な水準であること
- 3 **運用実績** 過去の運用実績が相対的に良好であること
- 4 **将来性** 資産形成には、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと
- 5 **運用体制** 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

I.取組状況

1 組合員・利用者への最良・最適な商品、共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、
原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1～5本文および(注)】

- 当組合は、「ひと・いえ・くるま・農業」のバランスの取れた総合保障の提供を通じて豊かな生活の実現に貢献するための実践を通じて、最良・最適な共済仕組み・サービスを提供しております。
- 住宅価格の高騰により連帯債務の住宅ローン利用者が増加したことを受けて、団体信用生命共済において従来よりも手厚い保障が可能となる連生タイプの取扱を新たに開始しております。
- 市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。
- 総合満足度は7月末時点で95.7%となっており、高水準を維持しております。
- なお、共済事業については、全共連と共同で事業運営を実施しており、お客さまの声や実際に販売した顧客情報等について相互に連携しております。

I.取組状況

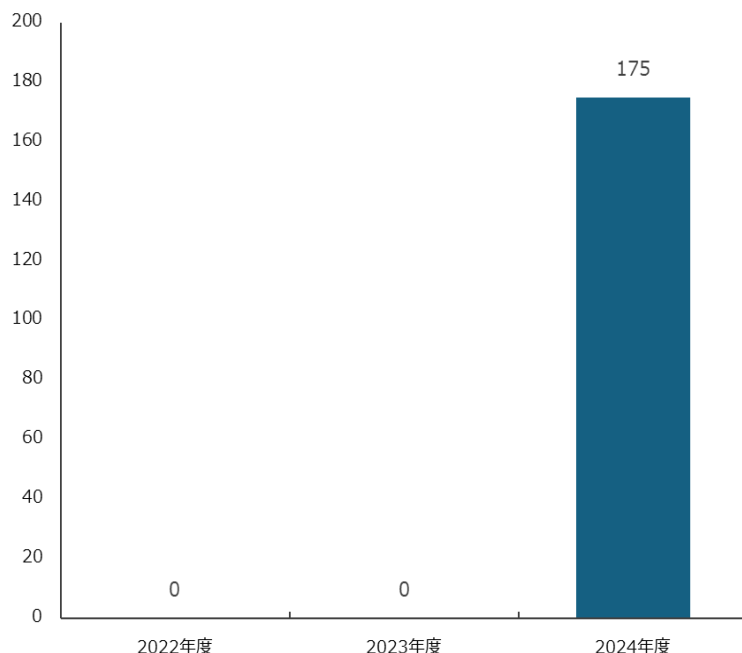
2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①

【原則 2 本文および（注）、原則 5 本文および（注 1 ～ 5）、
原則 6 本文および（注 1 ～ 7）】

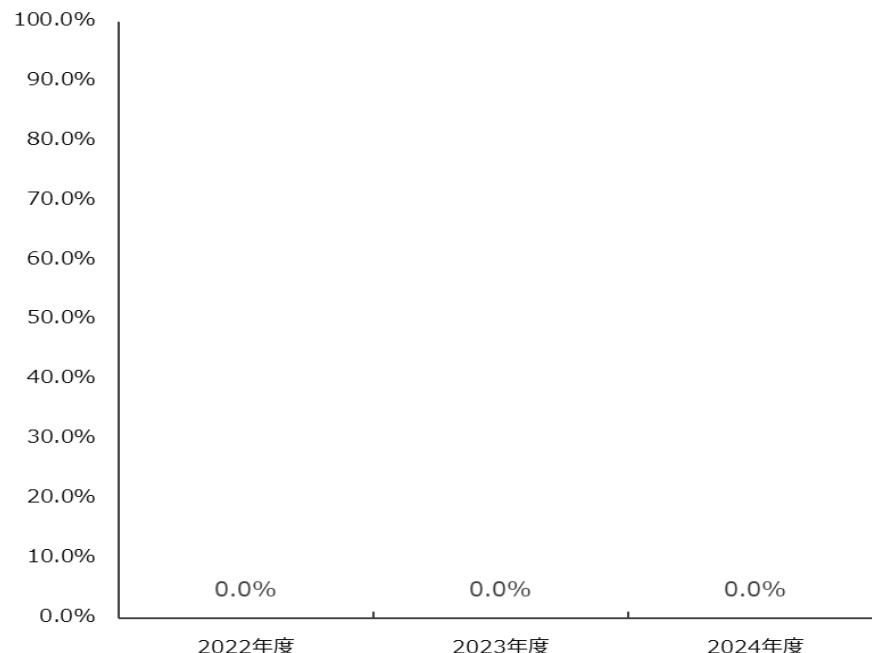
- お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて、お客様にふさわしい商品をご提案し、投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について資料を提供するとともに、お客様目線に立って分かりやすい説明に努め、必要な情報を十分にご提供します。

＜投信つみたて契約件数の推移＞

（件）



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



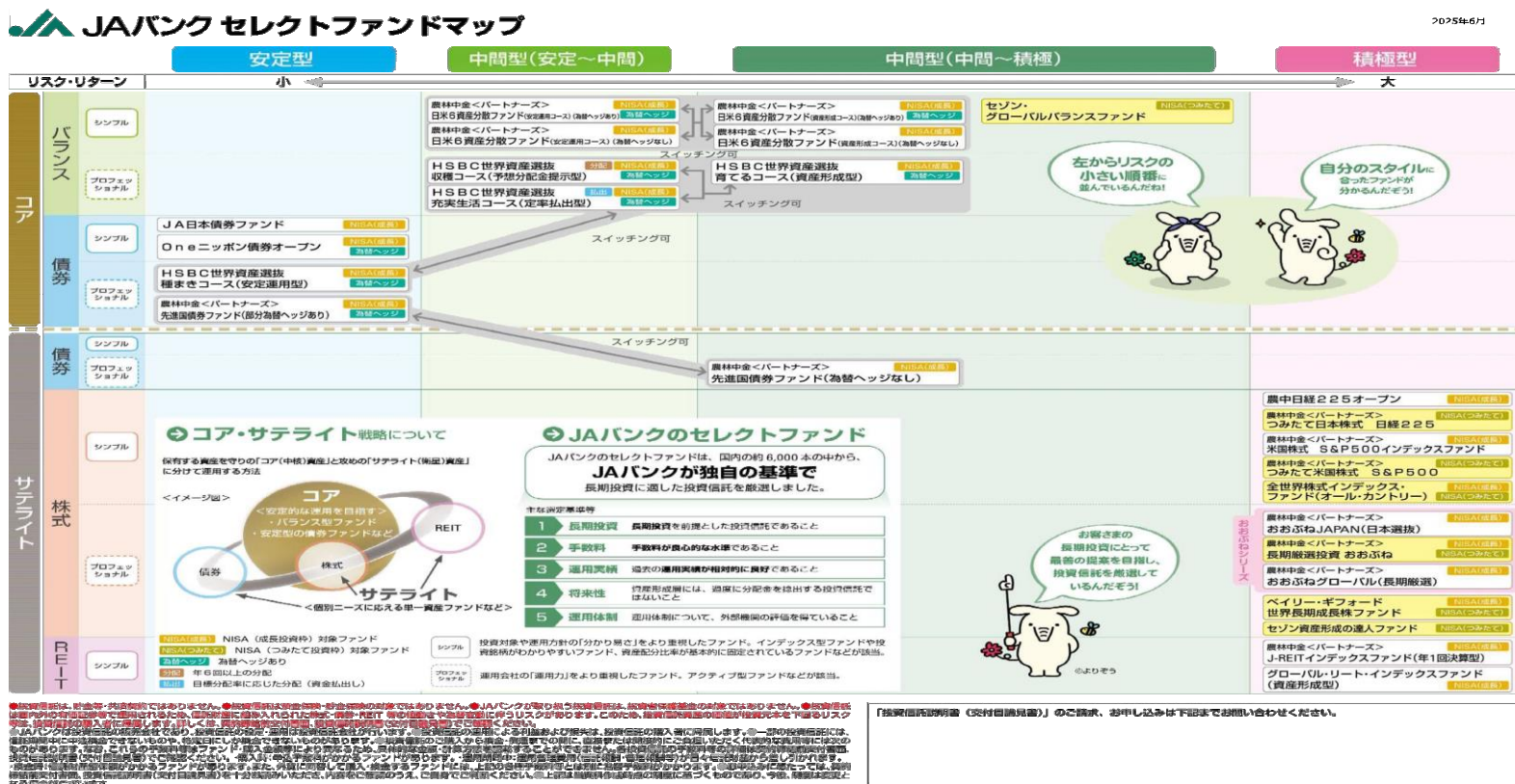
I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1～7）】

（１）信用の事業活動

- ・ 組合員・利用者の皆様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、J Aバンクセレクトファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- ・ なお、2024年4月から重要情報シートを導入しております。



I.取組状況

2 組合員・利用者本位の提案と情報提供③

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

（2）共済の事業活動

- お客さまが生活や農業を取り巻く様々なリスクに備えられるよう、一人ひとりのライフプラン等に応じた最適な共済仕組み・サービスなどの情報提供を行っております。
- 保障加入にあたっては、お客様のご意向を的確に把握・確認したうえで、十分にご理解、納得いただける重要事項説明（契約概要・注意喚起事項）を実施しております。また、特にご高齢の利用者の皆様に対しましては、より丁寧に説明し親族等の同席又は電話等による親族等への確認により高齢者対応を実施するなどきめ細かい対応を行います。
- お客様に対して保障加入にあたり共済掛金の他に、ご負担頂く手数料はございません。
- 当組合は、各種手続きにあたってはお客様にわかりやすい説明を心がけ、地域に根差したJAとして安心して頂けるアフターフォローに努めます。

3 利益相反の適切な管理

【原則3本文および（注）】

- 当組合は、組合員・利用者の皆様の商品選定、保障提供にかかる情報提供にあたり、金融商品の販売・推奨や共済仕組みの提案・契約等において、組合・利用者の皆様の利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」等を定め本方針等に基づき適切に管理します。

4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

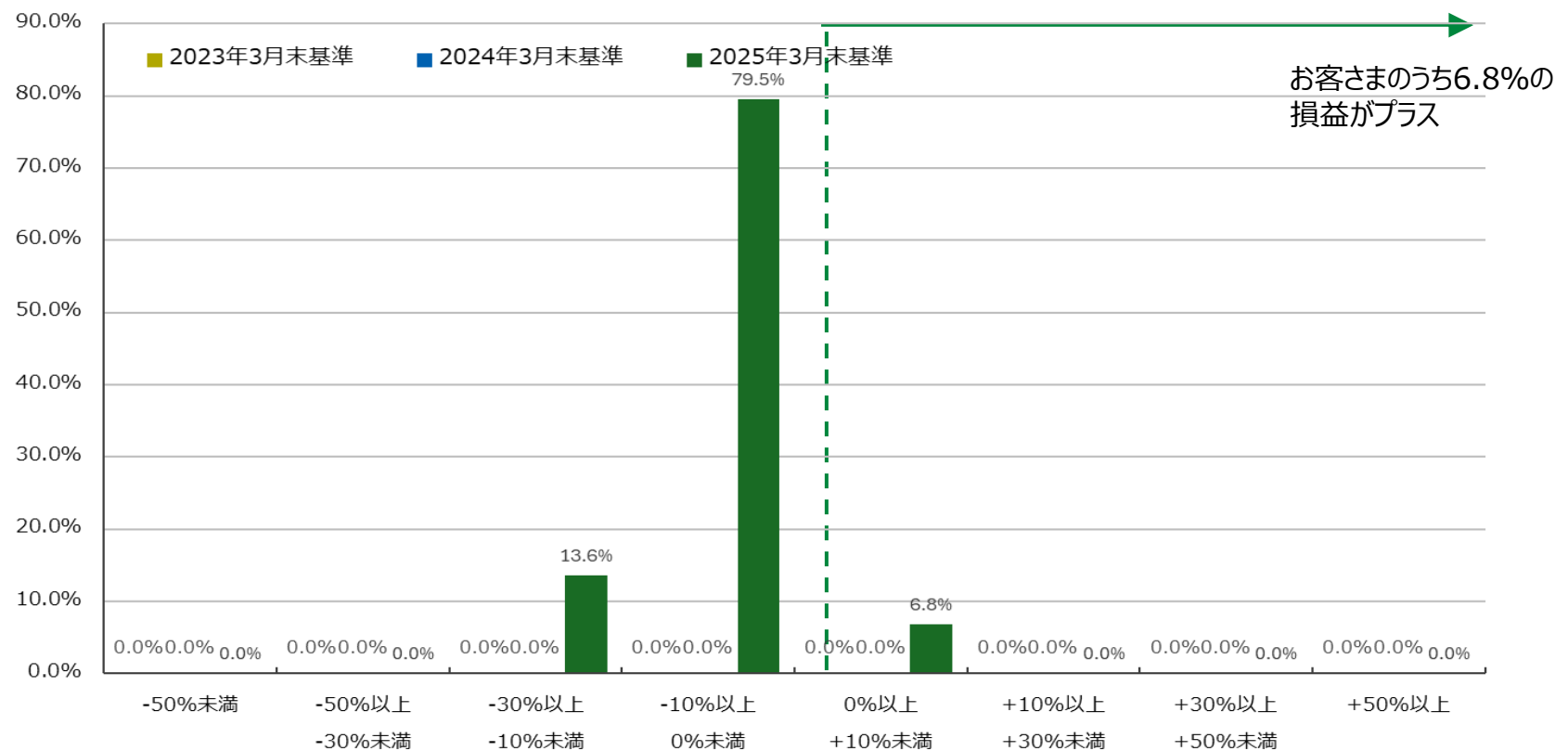
【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

- 当組合は、組合員・利用者の皆様の信頼を獲得し、満足していただける金融商品・共済仕組み・サービスを提供できるよう、職員の継続的・定期的な研修を実施するとともに、組合員・利用者の皆様の多様な保障ニーズに応え、的確な保障・サービスを提供し堅確な事務を行います。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2025年3月末時点では全体の6.8%のお客さまの損益がプラスとなりました。

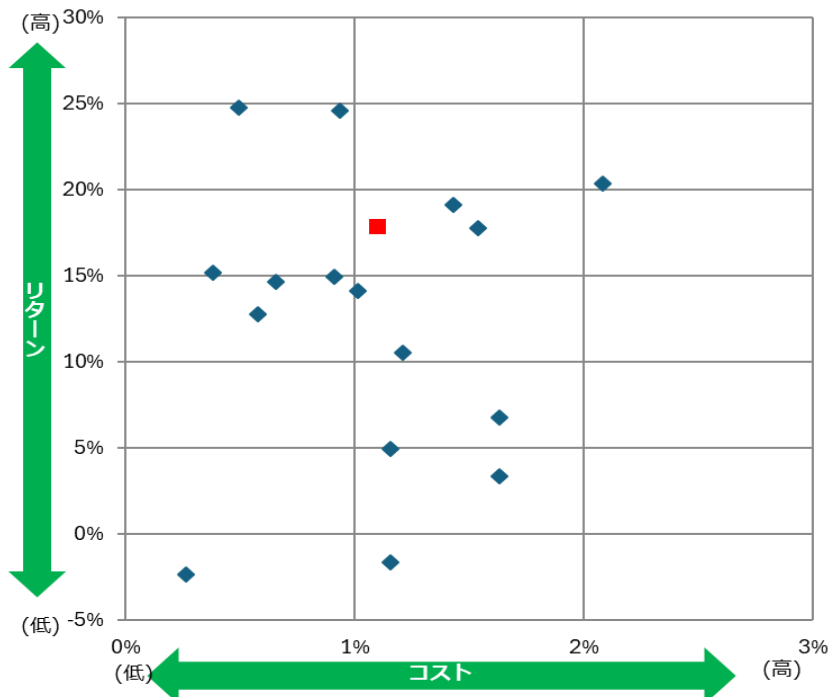


Ⅱ.比較可能な共通 K P I

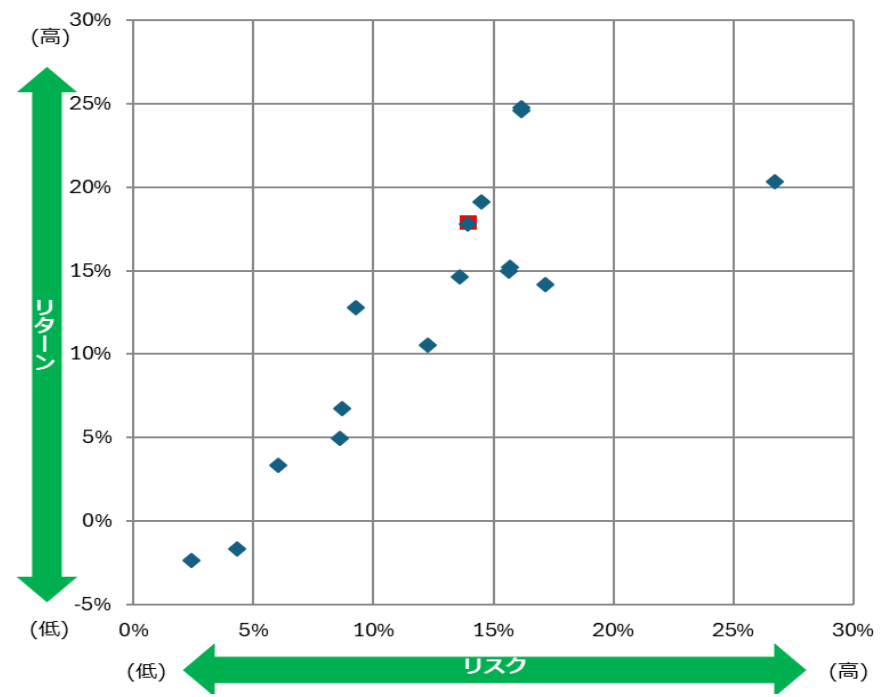
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2025年3月末)

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.1%、平均リスク13.93%に対して、平均リターンは17.89%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2025年3月末)

【預り残高上位20銘柄（設定後5年以上経過したもの）】

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	19.14%	14.48%	1.43%
2	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	24.62%	16.15%	0.94%
3	日米6資産分散ファンド*（資産形成コース）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	4.93%	8.59%	1.16%
4	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	24.77%	16.16%	0.50%
5	おおぶねグローバル（長期厳選）	農林中金バリューインベストメンツ（株）	14.63%	13.58%	0.66%
6	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	14.96%	15.62%	0.91%
7	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	12.76%	9.29%	0.58%
8	おおぶね J A P A N （日本選抜）	農林中金バリューインベストメンツ（株）	10.52%	12.27%	1.21%
9	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.19%	15.67%	0.39%
10	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	17.77%	13.93%	1.54%
11	日米6資産分散ファンド*（安定運用コース）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-1.66%	4.34%	1.16%
12	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント（株）	20.35%	26.74%	2.08%
13	HSBC世界資産選抜 収穫コース（予想分配金提示型）	HSBCアセットマネジメント(株)	3.35%	6.05%	1.63%
14	J A 日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-2.36%	2.41%	0.26%
15	HSBC世界資産選抜 育てるコース（資産形成型）	HSBCアセットマネジメント(株)	6.76%	8.71%	1.63%
16	グローバル・リート・インデックスファンド（資産形成型）世界のやどかり	大和アセットマネジメント（株）	14.15%	17.14%	1.02%
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		17.89%	13.93%	1.10%

※ 2025年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は16本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。